

論文

幼児のうたを弾くにあたっての留意点

益 子 州出男

Tips on how to play the songs for young children

Mashiko shudeo

はじめに

将来子どもたちの前に立つ学生を指導していると、幼児のうたの弾き歌いを勉強するにあたって、乗り越えなくてはいけない点が色々出てきます。「弾く」と「歌う」を一緒に行なう難しさから注意すべき事が多々あります。今回は、其の中から「弾く」に関して、重要なポイントを二点述べて行きたいと思います。

一つ目は指使い。幼児曲の楽譜にはほとんど指番号が書いてありません。勿論、幼児曲はバイエルやチェルニーの様に教則本ではないので、「この指使い以外は駄目」と言う事はありません。ゆえに、人それぞれ手の大きさ、指の長さ、5本の指のバランス等に違いがあるので、ある程度自由に弾いても良いと思います。ただ、基本的な指使いを知っていると楽に弾けるようになるのも事実です。ピアノの初心者では基本的な指使いが分からず、めっちゃくちゃな指使いをしたり、ある程度レッスンを受け、種々の教則本で基本的な指使いを拾得している学生もその意味を理解する事が出来ない事が多い。

二つ目は歌詞とフレーズ。「音」にとらわれて、注意すべき「歌詞」を弾いていない。一つ単語の間に間を入れてしまって、文章の流れが中断してしまう弾き方や、言葉の意味を理解しない弾き方が多く見られる事でした。

そこで、幼児のうたに多く用いられている音階や分散和音の基本的な指使いと言葉やフレーズを大切に弾くと言う事を、幼児のうたを例に出し、初心者でも理解してもらえる様に説明を加えて、分かり易く述べていきたいと思います。

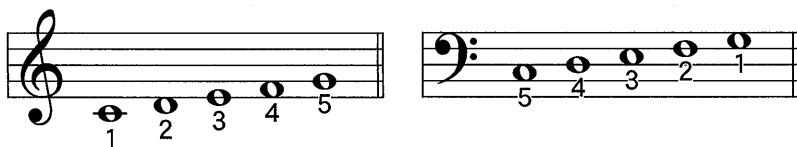
I. 指使い

基本的な指使いをハ長調の例で覚える。

1 から 5 までの指使い

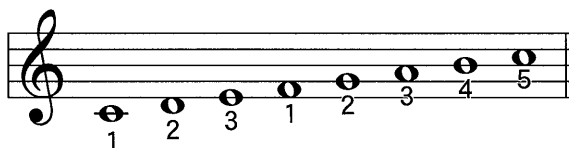
右手

左手

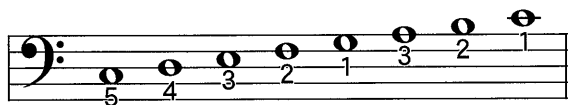


オクターブの指使い

右手



左手

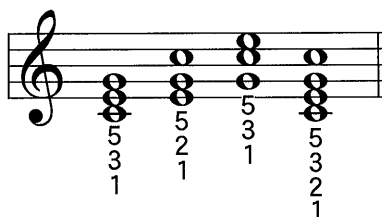


和音

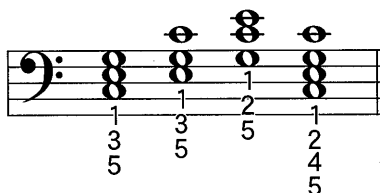
幼児曲に多用される主要三和音と属7の指使い。(転回形も含む。)

I の和音

右手

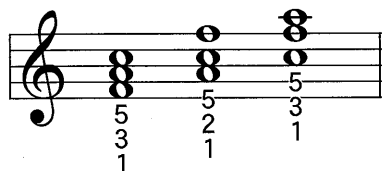


左手

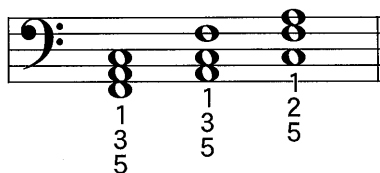


IV の和音

右手



左手

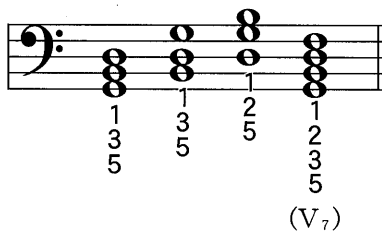
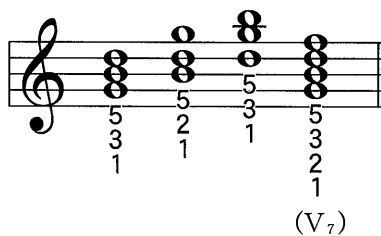


益子 州出男

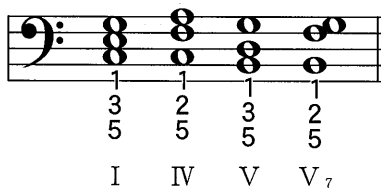
Vの和音

右手

左手



主要三和音のカデンツ



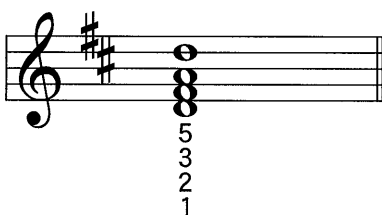
幼児曲は主要三和音で弾ける曲が多いので、各調のカデンツをしっかり覚えて欲しい。

1. 基本的な指使いを多く用いる曲例

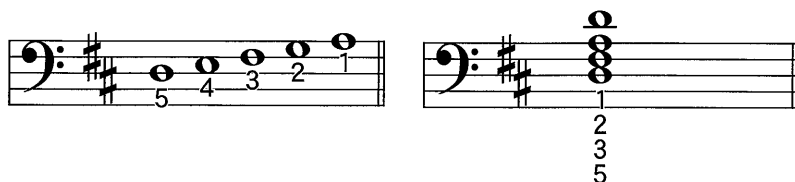
かたつむり

二長調の1～5までの基本形とIの和音のオクターブ

右手



左手



歌い出しの部分は両手とも1から5までの範囲で弾けるので基本を崩さず弾く。



最後の段は2小節までは両手ともIの和音のオクターブの指使いを用いる。



益子 州出男

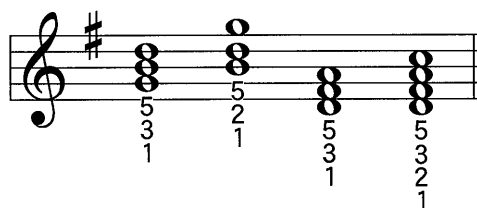
ふしぎなポケット

ト長調の基本形

右手の音階



和音 (I と V)



前奏の最初の部分の右手は I の和音の転回形、2 拍目の裏の A の音からト長調の音階の指使いで弾く。

ふしぎなポケット

Ⅰの和音の転回形 ← ここからト長調の音階の指使い

まど みお 作詞
渡辺 茂 作曲

♩=112 5 2 / 5 2 3 2 / 2 3 1 2 5 4 3 2 3 2 / 3 4 3 2

歌い出しの部分は、右手はIの和音の転回形、次の部分はVの和音の基本型、もしくは属7の指使いを用いる。

G

1. ポ ケ ッ ト の な か に は ビ ス ケ ッ ト が ひ と つ
2. も ひ と つ た た く と ビ ス ケ ッ ト は み つ つ

Iの和音の転回形

D

ポ ケ ッ ト を た た く と ビ ス ケ ッ ト は ふ た つ
た た い て み る た び ビ ス ケ ッ ト は ふ え る

Vの和音 属七の和音

2. 音の流れから基本的な指使いではない方が弾き易い曲例

七夕さま

へ長調のカデンツ

右手

左手

「のきばに」「おほしさま」の部分は基本形な指使い（3・5）で弾き始めると、「ゆれ」の所が指と指の間が狭くなって弾きづらくなってしまいますので、メロディーをを考えても（2・4）を使った方が弾き易くなる。

の き ば に

ゆ れ る お ほ し さ ま き ら き

最後の「す・な」の部分は「1・1」と弾くと旋律が切れるので二通りの指使いが考えられる。

ら き ん ぎ ん す な ご



水遊び

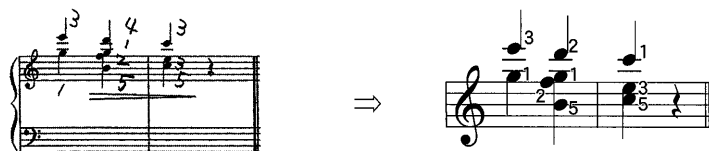
最初の左手の和音を基本形の指使いで弾くと、右手のメロディーの音と重なってしまいます。又、前奏を最後の段からもってくると、左手が同じ音になりますので、転回形で弾き始めた方が弾き易くなる。



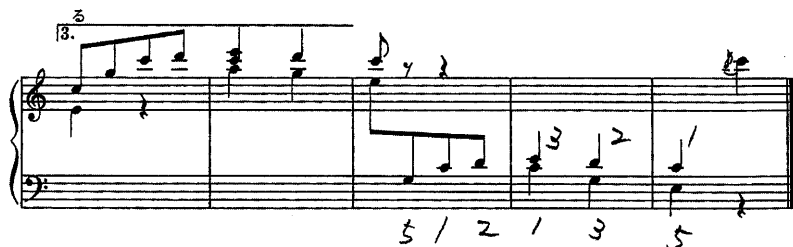
3. 弾く手を変えた方が弾き易い曲例

たき火

前奏の最後の部分ですが、楽譜のまま弾くと指使いは左のようになります。これではミの単音からソとレの和音が弾き難いので、右の様に、右手のソの音を左手で弾いてしまう。歌詞のメロディーがミ・レ・ドなので差し障りは無いと思われる。



後奏の最後の部分も楽譜上では右手で弾く様になっていて、その方が指使いも楽ですが、右手が左手の上を交叉するのが大変なら、左手で次の様な指使いで弾いても良いと思われる。



以上の様に幼児曲を弾く時に指使いを色々と考えなくてはならないが、まずは、一つのフレーズの音の範囲が音階や和音の基本形だけで弾けるか、又は、基本形と基本形の組み合わせで弾けるかを考えて下さい。

Ⅱ. 歌詞の意味と音楽の流れを感じる

普段は「4分音符を1つ、2分音符は2つ伸ばして」と弾きますが、楽譜上では4分音符でも歌詞が付くと日本語の流れが変になる事が多く見られます。歌詞には色々なニュアンスがあり、それらを出すには楽典で習ってきた事を少し変えなければならない場合があります。

1. 「っ」が有る場合

まつぼっくり

楽譜上では「ぼっ」の部分も4分音符ですが、そのまま弾くと「っ」が無くなり、「まつぼくり」となってしまいます。そこで「ぼっ」の4分音符は少し短く弾きます。ただし、スタッカートではないので、跳ね過ぎたりアクセントが付かない様に、軽く手を上げるだけにします。「ひろって」も同様に弾く。

お話しするように ♩=84 軽く上げる

F C

まつ ぼく り が あっ た と き

2. かけ声の様に言葉を強く短く発音する場合

シャベルでホイ

この「ホイ」も4分音符にすると曲の流れが重くなってしまう。歌詞を生かす為には、アクセントを付けながら短く弾く。そうすると、リズムカルな感じが出ます。この曲の場合は、右手の「ホイ」に合わせて左手も短く弾くとより感じがでます。

mf *G* *D*

1. シャベルでホイ せっせこホイ
2. あさかしは ばんまめがホイ
3. ことしは むすめがホイ
4. それまで なんとかホイ

3. フレーズに気を付けて弾く曲例

ぞうさん

この曲は会話になっているので、問いの部分と答えている部分を繋げて弾いてはいけません。

細かく言えば、次の様に句読点を入れると、より言葉の流れがはっきりする。

「ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いね。」

「そうよ、母さんも長いよ。」

弾き方は、「、」の後で軽く手を上げ、最初の音を弾き直す。「。」の後は答える方の呼吸をして弾き直す。手を上げている時間や、呼吸の時間が長いと休符になってしまうので注意する事。

ぞ う さん ぞ う さん お は な が な が い の ね
 ぞ う さん ぞ う さん お だ は な が な が い の ね
 そ あ う ね か あ さん も な す が い の の よ
 の ね か あ さん も な す が い の の よ

なみとかいがら

この曲も、どうして出来たのかと言う問いの部分と答えの部分とを繋げて弾いてはいけません。

又、最後の全音符に関しても、「なぜ、この長さが必要なのか？」と考えてみたい。1つの考えだが、後奏の16分音符で波が大きくなって、装飾音符で波が崩れて、全音符で海水が砂浜に吸い込まれる時間があり、その後砂浜に貝殻があった。吸い込まれる時間が欲しかったので、4分音符や

2分音符では駄目だった。と言う様に、音符の長さに関しても色々考えるべきである。

1. うずまき かいがら どうして できた なみがぐるぐる
 2. もいろ かいがら どうして できた なみがちんちん
 3. まんまる かいがら どうして できた なみがまんまるい

うずまいて できた
 ゆうやけて できた
 あわたてて できた

波 かい 大きく 崩れる

mp 毎水かい
 波は遠くは時間

4. 和音で言葉を繋げる曲例

とんぼのめがね

この曲の最後の言葉「だから」は切れてはいけないのに伴奏が和音になっている。メロディーを繋げる為の練習例として、次の様に倍テンポにして、切れてはいけない音は伸ばし、和音を構成している音を先に離して休符を入れる。そして、メロディーが切れない様に次の和音を弾く。馴れて来たらだんだん休符を短くし、右手のレガートに気を付けて楽譜通りに弾く。



この様に和音で言葉を繋げなくてはならない曲は他にも沢山あるので、この奏法をしっかり練習して身につけて欲しい。

5. 左手の和音の動きを繋げる曲例

大きな栗の木の下で

「あなたとわたし」の左手の動きはハ長調の音階になっており、右手の動きに合わせて切らずに弾くと良い。ただし、内声も一緒に弾くので、基本の指使いでは弾けない。次の様な指使いになる。

く り の
や し の
す ぎ の

き の し た で あ な た と

わ た し た の し く あ そ び ま し ょ う

フ 7 ヲ 3 4 3 2 1

7 7 ヲ 3 4 3 2 1

6. 伴奏で気を付けて欲しい曲例

前奏でのフレーズ

すうじのうた

四小節目のトリルを取れば次の様なフレージングになりますので、トリルと16分音符を繋げてはいけません。この部分はプレスを入れます。又、トリルと16分音符の速さが同じにならない様に、16分音符の刻みに気を付けて弾き直す。



あわてんぼうのサンタクロース

メロディーではなくリズムを刻むこの様な曲は、左手の音が伸びて2分音符になりがちなので注意する事。

悪い例



又、伴奏の最後の和音だが、右手に音が4つあると手の小さい人は掴み
 難く、リズム、テンポとも乱れてしまう。その様な場合は右手の一番下の
 音を省いて一拍目の和音のままオクターブ上がって弾いても良いと思う。
 その方が、指使いも同じになるので弾き易くなる。



7. 「番」によって音符の種類を変えて弾く曲例

幼児曲の多くは有節歌曲（歌詞が何番までであっても楽譜のメロディーが同じ。）である。1番から7番まで有る歌詞でも伴奏譜は同じである為、伴奏の音と歌詞の流れが違う事が度々ある。1番ではレガートでも2番では「っ」がある場合は切って弾かなければいけないし、逆の場合もある。又、歌詞の流れで1番は8分音符でも、2番は4分音符で弾く場合もある。例として「夕やけこやけ」の二番の歌詞「ことりがゆめをー」の「ー」の所は8分音符を弾かず、前の音を伸ばし4分音符にする。



工夫をすると音楽の流れが分かって楽しく弾ける曲を各一・二曲ずつ出してきましたが、同じポイントを含む曲は他にも沢山あります。又、まだまだ工夫して弾いて欲しい曲も多数ありますので、音符と歌詞の流れを注意深く譜読みし、一つ一つの音や言葉を丁寧に弾く様にして下さい。

最後に、今迄部分的に述べて来た曲を、曲全体で弾き方のポイント等を含みながら示したいと思います。

か た つ む り

♩=92 *mf* ^D A 文部省唱歌

1. で ん で ん む し む し か た つ む り
2. で ん で ん む し む し か た つ む り

mf

⁵ ³ ¹ ² ³ ² ¹ ²

⁵ ¹ ³ ⁵ ¹ ² ³ ¹ ⁵ ¹

^D ^A ^D

お ま え の あ た ま は ど こ に あ る
お ま え の め だ ま は ど こ に あ る

同じ音で指を
変え基本に元す

² ³ ⁴ ⁵ ⁴ ² ¹ ² ³

¹ ⁵ ⁵ ¹ ⁵ ² ¹

^D ^A ^D

つ の だ せ や り だ せ あ た ま だ せ
つ の だ せ や り だ せ め だ ま だ せ

³ ⁵ ² ³ ¹ ³ ² ¹

⁵ ³ ² ¹ ³ ⁵ ¹ ⁵ ² ¹ ²

ふしぎなポケット

まど みちお 作詞
渡辺 茂 作曲

♩=112

The piano introduction consists of two systems of four measures each. The first system features a treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature. The melody is written in eighth notes with various fingerings (5, 2, 1, 2, 3, 1, 3, 1, 2, 5, 2, 1, 3) and a final measure with a fermata. The bass clef accompaniment uses a simple eighth-note pattern with fingerings (5, 5, 3, 1, 3, 2, 1). The second system continues the melody with fingerings (4, 3, 2, 4, 5, 1, 3, 5, 1, 5, 1, 5) and a final measure with a fermata. The bass clef accompaniment continues with fingerings (4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4).

G

1. ポ ケ ッ ト の な か に は ビ ス ケ ッ ト が ひ と つ
2. も ひ と つ た た く と ビ ス ケ ッ ト は み つ つ

The first system shows the vocal melody for the first verse, starting with a G chord. The piano accompaniment consists of block chords in the right hand and single notes in the left hand. The second system continues the vocal melody and piano accompaniment for the second line of the verse.

D

ポ ケ ッ ト を た た く と ビ ス ケ ッ ト は ふ た つ
た た い て み る た び ビ ス ケ ッ ト は ふ え る

The second system shows the vocal melody for the second verse, starting with a D chord. The piano accompaniment consists of block chords in the right hand and single notes in the left hand. The third system continues the vocal melody and piano accompaniment for the second line of the verse.

ゆっくり 音が重なると113時は旋律を弾く

そ ん な ふ し ぎ な ポ ケ ッ ト が ほ し い

5 4 2 1 1 2 3 1 2 4 5

D G

そ ん な ふ し ぎ な ポ ケ ッ ト が ほ し い

5 3 2 1 2 3 1 2 5 4 1 5 (3) (2)

もとの速さで

1 2 3 1 3 1 2 3 1 3 1 2 3 4 体付数え3

16分音符の刻み

5

アルペジオは
やさしく弾く

♩=126

七夕さま

権藤はなよ作詞

F 下総 皖一作曲

The musical score is written for a vocal line and a piano accompaniment. The key signature has one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The tempo is marked as ♩=126. The score consists of four systems of music.

System 1: The vocal line begins with a whole rest, followed by two eighth notes: 'さ' and 'さ'. The piano accompaniment starts with a 5-finger arpeggiated chord in the right hand and a bass line in the left hand. A *mf* (mezzo-forte) dynamic marking is present.

System 2: The vocal line has the lyrics 'の は さ ら さ ら の き ば に'. The piano accompaniment continues with arpeggiated chords and a steady bass line.

System 3: The vocal line has the lyrics 'ゆ れ る お ほ し さ ま き ら き'. The piano accompaniment features a 4-finger arpeggiated chord in the right hand.

System 4: The vocal line has the lyrics 'ら き ん ぎ ん す な ご に は 57 かい'. The piano accompaniment includes a circled section with a 3-finger arpeggiated chord and a 5-finger arpeggiated chord, with handwritten notes '4/5', 'Bb #17', and '(3)'. The final measure has a 5-finger arpeggiated chord.

水 遊 び

東 クメ 作詞
滝廉太郎作曲

♩=104
G 1

み ず を た く さん く ん で き て

2 (3) 4

G 5 3 C 4 3 2 G 1

み ず で ぽ う で あ そ び ま し ょ う

5 5 5 2

G 1 軽3つ3 Em 2 4 V G 5 D G 1

一 二 三 四 シュツ シュツ シュツ

2 4 5 5

た き 火

巽聖歌 作詞
渡辺茂 作曲

$\text{♩} = 104$

The piano introduction is in 2/4 time. The right hand features a series of eighth-note patterns with fingerings: 4 5 2, 1 3 5, 4, 2 3 / 2, 3 4 5 4. The left hand plays a bass line with notes 5, 2, 5, 1, 2, 1, 2, 3, 4, 3, 2. The dynamic marking is *mf*.

C

The first system of the song begins with a C major chord. The melody in the right hand is: C4 (quarter), D4 (quarter), E4 (quarter), F4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter). The lyrics are: 1. か き ね の か き ね の ま が り か, 2. さ ぎ ん か し さ ぎ ん か し さ い た み, 3. こ が ら し こ が ら し さ む い み. The piano accompaniment in the left hand has chords: C4 (quarter), F4 (quarter), C4 (quarter), F4 (quarter), C4 (quarter), F4 (quarter), C4 (quarter), F4 (quarter). Fingerings are indicated: 1, 2, 3, 4, 5, 3, 1.

G C F G C

The second system continues the melody. The right hand melody is: D4 (quarter), E4 (quarter), F4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter). The lyrics are: ど ち ち た き び だ た き び だ お ち ば た き, た た き び だ た た き び だ お お ち ば た き, た た き び だ た た き び だ お お ち ば た き. The piano accompaniment in the left hand has chords: G4 (quarter), C4 (quarter), F4 (quarter), G4 (quarter), C4 (quarter), F4 (quarter), G4 (quarter), C4 (quarter). Fingerings are indicated: 5 4 3, 2, 1, 2, 4, 1, 5, 2.

Handwritten musical score for the song "Yoru ni Koi ni Oshiete" (夜に恋を教えます). The score is written on two staves, with the upper staff for the vocal line and the lower staff for the piano accompaniment. The lyrics are in Japanese, and the music includes various performance markings such as dynamics (p, mf), articulation (accents), and fingerings (1, 2, 3, 4).

Lyrics:

あ たら っ ち っ か あ たら っ ち っ か
 あ たら っ ち っ か あ たら っ ち っ か
 あ たら っ ち っ か あ たら っ ち っ か
 あ たら っ ち っ か あ たら っ ち っ か

Performance Markings:

- Staff 1 (Vocal):**
 - Dynamic markings: *p* (piano), *mf* (mezzo-forte).
 - Articulation: Accents (circles with dots) over the notes for "あ" and "あ" in the second line.
 - Fingerings: "1" and "4" are written above the notes.
- Staff 2 (Piano):**
 - Dynamic markings: *p* (piano), *mf* (mezzo-forte).
 - Articulation: Accents (circles with dots) over the notes for "あ" and "あ" in the second line.
 - Fingerings: "1", "2", "3", "4" are written above the notes.
 - Other markings: "3/2" and "3/4" are written below the notes.

C F C G 1.2.
C
 き た か ぜ ビ ー プ ー ふ い て る
 そ う だ け ー て が あ る い
 5 3 2 1 2 1.2. 1
 4 3 5

Handwritten musical score for guitar, featuring two staves. The key signature is C major (one sharp, F#). The score includes various musical notations such as eighth notes, quarter notes, and rests. Handwritten Japanese annotations provide specific instructions:

- Top staff: "13. C" (measure 1), "る" (measure 2), "13." (measure 3), and "右手で弾く場合 前の二小節と同じ指使い" (When playing with the right hand, use the same fingering as the previous two measures).
- Bottom staff: "1 2" (measures 4-5), "4 3 2 1" (measures 6-7), "3 2 1" (measures 8-9), and "左手で弾く場合 5 1 2 1 3 5" (When playing with the left hand, use the fingering 5 1 2 1 3 5).

まつぼっくり

お話しするように ♩=84 軽く上げる

廣田孝夫 作詞
小林つや江作曲

まつ ぼく くり が あっ た と さ

た かい お や ま に あっ た と さ

こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ あっ た と さ

お さ る が ひ ろ っ て た べ た と さ

シャベルでホイ

威勢よく ♩=112
サトウ ハチロー作詞
中 田 喜 直 作曲

1. シャ ベ ル でら ほうい
2. あ さ か し は ほうい
3. こ と し は ほうい
4. そ れ ま で ほうい

せ っ せ こ ほうい
ば ん ま で ほうい
む す め が ほうい
な ん と か ほうい

も ぐ ら の お じ さ ん み ち ぶ し ん
も ぐ ら の お じ さ ん み ち ぶ し ん
ち か み の が じ さ ん み ち ぶ し ん
ち か み の が じ さ ん み ち ぶ し ん

そ ら ほうい どっ こい ざっ くり ほうい

(4 5 2 1 3) 3 5 1 2 4 ぞうさん まど みちお作詞
3 5 1 2 4 右子 勝子 團 伊 玖 磨 作曲

mf 4 5 たタ×ロダ 1 2 3 4 5 2 3 1 2 5

F 4 2 1 5 1 2 3 5 C 大きなス

ぞ う さん ぞ う さん お は な が な が い の ね
ぞ う さん ぞ う さん お だ ー れ が す き な ー の

F 4 2 V 5 Dm G 4 5 C7 2 1 C 4

そ う よ か あ さん も な (2) (3) が い の ね
あ の ね か あ さん が な す き な の よ (5)

3 4 5 3 (5) 5 2 5 2

なみとかいがら

まど みちお作詞
中田 喜直 作曲

♩=90

The score consists of three systems. The first system shows the piano introduction with a treble and bass staff. The second system includes the vocal melody with three verses of lyrics and piano accompaniment. The third system continues the piano accompaniment.

Handwritten notes and markings:

- First system:** Fingering numbers (4, 5, 2, 1, 4, 3, 5, 2, 1, 2) are written above the treble staff. A *mp* dynamic is marked in the bass staff.
- Second system:** Chords C, Em, Am, Fm, G, and Dm are written above the treble staff. A handwritten note with an arrow points to the Fm chord: "同じ指2・3弾き通すと フレスが入れ易い" (Using the same fingers 2 and 3 to play through makes it easier to insert the fret). The lyrics are:
 - 1. うずまき かいがら どうして できた なみがぐるぐる
 - 2. ももいろ かいがら どうして できた なみがちんちん
 - 3. まんまる かいがら どうして できた なみがまんまるい
- Third system:** Chords C, G7, and C are written above the treble staff. The lyrics are:
 - うずまいて できた
 - ゆやけて できた
 - あわたて できた

Piano part details: The piano part includes various dynamics (*mp*, *p*) and fingering numbers throughout. The final measure of the third system has an *mp* dynamic and an arrow pointing right, indicating a continuation.

次の和音に考えよ とんぼのめがね

基本形2'は(4)の
方か? 弾き易い!!
軽快に ♩=112

額賀誠志 作詞
平井康三郎 作曲

1. とんぼのめがねはみずいろめがね
2. とんぼのめがねはみずいろめがね
3. とんぼのめがねはみずいろめがね

あ お 一 おん い お そー ら を と み だ か か ら
お う や と け お ー ま を と だ だ か ら
ゆ て ん ぐ ー も を と だ だ か ら

と み だ か か ら
と ん だ か か ら

2 3
p

大きな栗の木の下で

元気よく (幼児の歩く速さで)

きたひろし作詞
外国曲

おお き な

く り の の
やす ぎ の

き の し た で あ な た と

ベースの音の流れを丁寧に

わ た し た の く あ そ び ま し ょ う

(2) (3)

左手もレカートで弾く

おお き な

く り の の
やす ぎ の

き の し た で で

すうじのうた

トリルと16分音符を
同じ指で弾くと

Intro.

(23) (23) フレーミン? 夢 虹二 作詞
小谷 肇 作曲

The introduction is in 2/4 time. The right hand starts with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). It features a series of eighth notes and a triplet of eighth notes. The left hand is in the bass clef and plays a simple accompaniment of eighth notes. Handwritten notes above the staff include '4 5' and '12'.

The piano accompaniment for the first line of lyrics. The right hand plays a melody of eighth notes, and the left hand provides a steady bass line of eighth notes.

1. す	う	じ	の	い	ち	は	な	—	に	こ	う	ば	の
2. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	お	い	け	の
3. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	あ	か	ち	の
4. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	あ	か	し	の
5. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	お	う	ち	の
6. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	た	ぬ	き	の
7. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	こ	わ	れ	の
8. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	た	わ	な	の
9. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	お	ん	と	ま
10. す	う	じ	の	に	—	は	な	—	に	え	ん	と	つ

The piano accompaniment for the second line of lyrics. The right hand plays a melody of eighth notes, and the left hand provides a steady bass line of eighth notes. Handwritten notes above the staff include 'C', '4', '1 3 G7', and 'C5'.

The piano accompaniment for the third line of lyrics. The right hand plays a melody of eighth notes, and the left hand provides a steady bass line of eighth notes. A handwritten note above the staff says 'to ④'.

えん と — つ
が ちよ — う
お み — み
ゆ み — や
か ぎ — よ
お な — か
ラ ツ — パ
ダ ル — マ
じゃ — し
お ぎ — ま

The piano accompaniment for the fourth line of lyrics. The right hand plays a melody of eighth notes, and the left hand provides a steady bass line of eighth notes. Handwritten notes above the staff include 'G7', 'C', '4 3 2', '3', '2 5', and '3 (5) 5'.

夕やけこやけ

中村雨紅作詞
草川 信 作曲

♩=84

C

1. ゆうやけ こやけ で ひがくれ て
2. こどもが かえった あとからは

pp *p* *mf*

con sva

C F G C *f* F C

や ま の お て ら の か ね が な る お ー て て つ な い で
ま る い お お き な お つ き さ ま こ と り が ゆ め を ー

4 5

F C *mf* G C *rit.* G7 C

み な か え ろ う か ら す と い っ し ょ に か え り ま し ょ う
み る こ ろ は そ ら に は き ら き ら き ん の ほ し

p *mf* *rit.*

5 1 1 5 1

con sva *D.S. al Fine*

幼児のうたを弾くにあたっての留意点

G₇ C₇ F F₇ B^b

や っ て き た い そ い た で リン リン リン い そ い た で リン リン
 お っ こ ち た あ の た く ドン ドン ドン あ の た く ドン ドン
 お っ ど え じ っ っ た て き りん りん りん だ さ よ な ら シャラン
 お っ ど え じ っ っ た て き りん りん りん だ さ よ な ら シャラン

Bdim F C₇ F B^b

リン な ら し て お く れ よ か ね を — リン リン
 ドン ま っ く て ろ く け の お お かく — ドン ドン
 チャ み ん な も お け よ お ぼ く — チャ チャ
 ラン タン プ す り ン だ め し だ よ き た と シャラン
 ラン わ れ ち ゃ な め し だ よ き た と シャラン

F C₇ F 1.2.3.4. 5.

リン リン リン リン リン リン リン 2. あ わ
 ドン ドン ドン ドン ドン ドン ドン 3. あ わ
 チャ チャ チャ チャ チャ チャ チャ 4. あ わ
 シャラン シャラン ラン 5. あ わ
 リン チャ チャ チャ ドン シャラン

おわりに

色々述べて来ましたが、幼児のうたは楽譜上の音が弾けただけでは子ども達に曲の内容が伝わりません。学生が教えられた事をそのままではなく、本人が感じる五感を磨き、目の前に居る子ども達が音楽を楽しむ為には、どう表現したいかを考える事が大切なのではないだろうか。そうするには、歌詞の中に出て来る花や動物に関する知識を身に付けるのはもとより、歌詞の意味を感じる為にも、バーチャルの世界ではなく、それらを実体験し、自然と触れあい、花や動物を見て、触って、感じて、子ども達の前で情景描写を感性豊かに表現出来る様になって欲しい。

何気なく歌っていますが、歌詞の中には「シャベルでホイ」のみちぶしん『道普請』道路の開設・修繕工事、「七夕さま」のすなご『砂子』色紙・ふすまなどにふきつける金銀の粉等の様に、簡単に説明出来るそうで、いざとなると説明が難しい歌詞があります。歌詞の内容や行事についても、子ども達はその意味を理解出来る様に色々勉強して欲しい。

又、ピアノの基礎力は基より、子ども達に合った音域にすべき移調法、メロディーのみの楽譜に伴奏をつけられる様にコードの勉強、難しい伴奏譜を自分なりの伴奏で弾ける事が出来る伴奏法等、音楽の理論面での勉強、弾き歌いなので歌唱もしっかり身につける事を望みます。

この論文が幼児曲を勉強している人のベースとなり、自分なりの勉強の広がりを持てる一つになれば嬉しいです。

又、この論文は私が指導して来た中で感じた、工夫して欲しい点を自分なりの解決法で述べさせて頂いた物です。ゆえに、批判も多々有ると思います。それらを多く聴かせて頂き、これからの指導に役立てていければ幸いです。

資料図書

幼児教育法シリーズ

音楽リズムー幼児のうた楽譜集 小林美実編 東京書籍